

## 一宮研伸大学 紀要投稿規程

### (投稿者の資格)

第1条 投稿論文は、本学の学術研究と教育の進歩・発展に寄与するものであり、投稿者は原則として本学の専任教員（元専任教員を含む）、助手（元助手を含む）、学生（大学院生を含む）、卒業生（修了生を含む）、その他論集編集委員会（以下「編集委員会」という）が認めた者とする。ただし共著者はこの限りでない。

### (論文の種類)

第2条 投稿論文の種類は、総説、原著、教育実践研究、教育実践報告、その他のいずれかであり、原稿にそのいずれかを明記する。

#### 1) 総説

取り上げたテーマについて、内外の諸研究を幅広く概観し、現在までの動向や進歩を示し、新たな概念や今後の展望を提示するもの。

#### 2) 原著

妥当かつ独創的なリサーチクエスチョンを、科学的手法に基づいて探求・検証し、新しい知見を示すもの。IMRADで論述する。

#### 3) 教育実践研究

自身の教育実践に関するリサーチクエスチョンを、科学的手法に基づいて探求・検証し、成果や課題を示すもの。IMRADで論述する。

#### 4) 教育実践報告

自身のユニークな教育実践の実際を、テーマや方略および実践者自身の貴重な学びを共有するために、分かりやすく報告するもの。学習者から得たデータ等は記載せず、実践者の振り返りに基づいて記述する。

#### 5) その他

上記の他に編集委員会が掲載を認めたもの。招待論文や解説、提言、委員会報告、重要な情報の共有等が相当する。

### (投稿論文の制約)

第3条 投稿論文等には適切な倫理的配慮がなされなければならない。

2 投稿論文等は未発表のものに限る。また本誌に投稿された論文等はその採否が決定するまで重複して他誌に投稿してはならない。

3 原著、教育実践研究は、組織内倫理審査委員会等で研究計画の倫理性について承認がなされたことを明示しなければならない。

4 特定団体との利益相反については、投稿者が責任をもってその旨を明示しなければならない。

5 その他諸々の倫理的問題があるものは採用されない。

### (投稿論文の枚数)

第4条 投稿論文等の枚数は規定の分量におさめる。

2 総説、教育実践研究、その他に関しては、図・表を含んで刷り上り 10 頁以内とする。

- 3 原著は、図・表を含んで刷り上り 16 頁以内とする。
- 4 教育実践報告は、図・表を含んで刷り上り 6 頁以内とする。

(執筆要項)

第 5 条 原稿は別に定める執筆要項に従うものとする。

(論文の受理)

第 6 条 論文は、論文提出受付期間内に編集委員会に提出する。

- 2 投稿の申込および論文の受付期間は前もって編集委員会が決定し、最終原稿の提出日をもって、論文の受理日とする。

(掲載)

第 7 条 紀要への掲載順序は原則として、種類別、論文の受理順とする。

(著作権等)

第 8 条 著作権は一宮研伸大学（以下「本学」という）に帰属する。

- 2 著作者が自分の論文を利用する場合には、編集委員会の許諾を必要としない。
- 3 電子情報化など二次的使用に関する権利は、本学が著作者から委譲されたものとする。
- 4 投稿に際して、当該論文の著作権および電子情報化等の二次的使用に関する権利が本学に帰属することを、著作者全員が同意しているものとみなす。投稿者は、この点について共著者全員に承諾を得た上で投稿するものとする。

(原稿の採否)

第 9 条 原稿の採否は、学内外の複数の査読者による査読を経て、編集委員会が決定する。  
なお、原稿の修正および種類の変更を求めることがある。

- 2 著者校正は 1 回のみとする。校正時の大幅な加筆・修正は受け付けない。

附 則

この規程は、令和 3 年 7 月 2 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 4 年 7 月 2 0 日から施行する。